

2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 株式会社コロプラ 上場取引所 東
 コード番号 3668 URL <https://colopl.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 功淳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 原井 義昭 TEL 03(6721)7770
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績 (2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	22,354	13.9	7,422	-	7,406	-	5,296	-
2019年9月期第2四半期	19,622	△16.7	492	△88.2	49	△98.7	△68	-

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 5,352百万円 (-%) 2019年9月期第2四半期 △99百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	41.49	41.31
2019年9月期第2四半期	△0.53	-

(注) 1. 2019年9月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	80,736	72,669	90.0
2019年9月期	74,740	69,433	92.9

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 72,668百万円 2019年9月期 69,432百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	-	0.00	-	17.00	17.00
2020年9月期	-	0.00	-	-	-
2020年9月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示をいたしません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	129,576,036株	2019年9月期	129,288,500株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	1,778,224株	2019年9月期	1,778,039株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	127,656,102株	2019年9月期2Q	127,308,915株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2020年の国内ゲームアプリ市場は安定成長を続けることが予想されており、「ファミ通ゲーム白書2019」によると、2018年に1兆1,660億円まで成長した市場規模は、2020年には1兆3,000億円に達すると予測されております。また、The Goldman Sachs Group, Inc.の調査によると、VR（仮想現実：VirtualReality）のハードウェア及びソフトウェアの世界市場規模は、2025年までに590億ドルに達すると予測されております。

このような環境の中、当社グループは、スマートフォン向けの既存ゲームについてはユーザとのエンゲージメントを高めることを意識し、新規ゲームについてはその投入に向けて注力してまいりました。また、VR端末向けコンテンツへの注力も進めており、様々な開発実験を行ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間において、売上の多くを占めるスマートフォン向けゲームでは、他社IPタイトルの「ドラゴンクエストウォーク（企画・制作：株式会社スクウェア・エニックス、開発：当社）」が引き続き堅調に推移し、当社グループの連結業績に貢献しました。また、自社IPタイトルにおいては、主力タイトルである「クイズRPG魔法使いと黒猫のウィズ」及び「アリス・ギア・アイギス」が当四半期において周年記念イベントを開催するなど、好調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,354百万円（前年同四半期比13.9%増）、営業利益は7,422百万円（同1,406.2%増）、経常利益は7,406百万円（同14,755.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,296百万円（前年同四半期は68百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループにおける報告セグメントはモバイルサービス事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は72,148百万円（前連結会計年度末比7,297百万円増）となりました。これは主に、現金及び預金が増加したことによるものであります。

また、固定資産は8,587百万円（同1,302百万円減）となりました。これは主に、有形固定資産が減少したことによるものであります。

以上の結果、総資産は80,736百万円（同5,995百万円増）となりました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は7,541百万円（同2,757百万円増）となりました。これは主に、未払法人税等が増加したことによるものであります。

また、固定負債は525百万円（同1百万円増）となりました。これは主に、資産除去債務が増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は8,066百万円（同2,759百万円増）となりました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は72,669百万円（同3,235百万円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ8,404百万円増加し、64,226百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は9,391百万円（前年同四半期は924百万円の収入）となりました。主な収入要因は税金等調整前四半期純利益7,406百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動により得られた資金は1,085百万円（前年同四半期は1,110百万円の支出）となりました。主な収入要因は投資有価証券の売却による収入1,356百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は2,108百万円（前年同四半期は2,115百万円の支出）となりました。主な支出要因は配当金の支払額2,158百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示はいたしません。なお、新型コロナウイルス感染症による当事業年度の業績への影響は、現時点では限定的と考えておりますが、引き続き今後の動向を注視してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,473	63,547
売掛金	6,549	6,224
たな卸資産	452	434
その他	2,413	1,997
貸倒引当金	△37	△54
流動資産合計	64,851	72,148
固定資産		
有形固定資産	1,537	763
無形固定資産	51	44
投資その他の資産	8,300	7,778
固定資産合計	9,889	8,587
資産合計	74,740	80,736
負債の部		
流動負債		
未払金	3,325	3,129
未払法人税等	109	2,253
その他	1,348	2,157
流動負債合計	4,783	7,541
固定負債		
資産除去債務	520	523
その他	3	2
固定負債合計	523	525
負債合計	5,307	8,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,510	6,536
資本剰余金	6,269	6,295
利益剰余金	61,376	64,505
自己株式	△4,644	△4,644
株主資本合計	69,511	72,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△79	△23
その他の包括利益累計額合計	△79	△23
非支配株主持分	0	0
純資産合計	69,433	72,669
負債純資産合計	74,740	80,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	19,622	22,354
売上原価	13,796	11,294
売上総利益	5,826	11,059
販売費及び一般管理費	5,333	3,637
営業利益	492	7,422
営業外収益		
受取利息	22	32
有価証券利息	8	4
為替差益	—	25
投資有価証券売却益	36	74
デリバティブ運用益	—	79
雑収入	43	39
営業外収益合計	110	255
営業外費用		
為替差損	58	—
投資有価証券評価損	381	111
投資事業組合運用損	101	30
投資有価証券売却損	—	99
雑損失	12	29
営業外費用合計	553	271
経常利益	49	7,406
税金等調整前四半期純利益	49	7,406
法人税等	117	2,110
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△68	5,296
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△68	5,296

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△68	5,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	55
その他の包括利益合計	△31	55
四半期包括利益	△99	5,352
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△99	5,352
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	49	7,406
減価償却費	111	75
のれん償却額	296	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7	16
為替差損益 (△は益)	66	△36
投資有価証券売却損益 (△は益)	△36	24
投資有価証券評価損益 (△は益)	381	111
デリバティブ運用損益 (△は益)	—	△79
売上債権の増減額 (△は増加)	739	325
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△34	17
仕入債務の増減額 (△は減少)	20	28
未払金の増減額 (△は減少)	△694	△209
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△74	905
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	35	65
前受金の増減額 (△は減少)	350	2
前払費用の増減額 (△は増加)	17	83
その他	101	137
小計	1,338	8,877
利息及び配当金の受取額	20	38
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△433	475
営業活動によるキャッシュ・フロー	924	9,391
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△58	△21
有形固定資産の売却による収入	—	718
無形固定資産の取得による支出	△3	△4
投資有価証券の取得による支出	△1,093	△909
投資有価証券の売却による収入	36	1,356
関係会社出資金の払戻による収入	32	10
敷金及び保証金の回収による収入	0	145
先物決済による収入および支出	—	76
その他	△23	△287
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,110	1,085
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	37	51
配当金の支払額	△2,153	△2,158
その他	0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,115	△2,108
現金及び現金同等物に係る換算差額	△66	36
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,368	8,404
現金及び現金同等物の期首残高	60,400	55,822
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	428	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,461	64,226

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

当社グループにおける報告セグメントはモバイルサービス事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

株式取得による会社の買収

当社は、3月30日開催の取締役会において、株式会社 MAGES. (以下、MAGES.) のすべての株式を取得し、完全子会社化することについて決議いたしました。これに伴い、2020年3月30日付けで株式譲渡契約書を締結し、2020年4月3日付けでMAGES. の株式の全部を取得し、子会社化いたしました。

1. 株式取得の目的

当社は、MAGES. のオリジナルIP創出力と保有する人気IPを当社グループに加えることで、当社グループの主力事業であるモバイルサービス事業において、一層の競争力向上を見込んでおります。また MAGES. は、当社グループに参画し財務基盤および経営管理体制を強化することで、同社の強みである新規エンターテインメント事業の創出を加速させます。これらの点から、MAGES. を当社グループに迎え入れることは当社グループの企業価値向上に大きく寄与するものと判断し、MAGES. の全株式を取得することといたしました。

2. 株式取得の相手会社の名称

株式会社 CHIYOMARU STUDIO

3. 買収する会社の名称、事業内容、規模

会社の名称：株式会社 MAGES.

事業の内容：ゲームソフトウェアの企画・開発、楽曲制作、番組制作

規模：資本金295百万円

4. 株式取得の時期

2020年4月3日

5. 取得する株式数、取得価額及び取得後の所有株式の状況

取得する株式の数：260株

取得価額(概算)：1,612百万円

当該取得価額に加え、業績の達成度合い等に応じて500百万円または1,000百万円の条件付取得対価（アーンアウト対価）が発生する場合があります。

取得後の持分比率：100%